千葉県環境保全条例施行規則の一部を改正する規則（案）の概要

1 改正の趣旨

千葉県環境保全条例では、条例第55条の規定により「自動車の使用に伴う環境への負荷の低減を図るための指針（以下「指針」という。）」を定め、自動車排出ガスによる窒素酸化物等の大気汚染物質や温室効果ガスを軽減するための対策として、事業者に対して、指針で定める自動車の使用に伴う環境への負荷を低減するための事項を記載した計画書等の提出や低公害車の導入を義務付けています。現時点では全ての対象事業者がその義務を達成していることから、さらなる低公害車の導入を進めていくため、導入義務割合の見直しを行います。

また、事業者が作成する計画書のうち「自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質の削減計画」の項目を削除することなどの指針の見直しを行っていることから、千葉県環境保全条例施行規則で定める計画書等の様式の見直し等を行います。

さらに、国が「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」に基づきアナログ規制の見直しを行っていることを踏まえ、電磁的記録を保存する方法について、所要の改正を行います。

2 改正の内容

- ・現状の低公害車の導入状況を鑑み、200台以上の自動車を使用する事業者における低公害車の導入義務割合を40%から60%にし、その達成期限を令和13年3月31日とします。
- ・事業者の負担軽減や事務の効率化を図るため、事業者が提出する様式の項目の見直し等を行います。
- ・自動車販売業者が事務所に備え置く新車の排出ガスの量や騒音の大きさなどの事項を記載した書面について、電磁的記録により備え置く場合における保存方法を磁気ディスク等に限らず、広く対象となるよう電磁的記録媒体に改めます。
- ・その他所要の規定の整備を行います。

3 施行予定日

令和7年4月1日